

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公表番号】特表 2020-501558 (P2020-501558A)

【公表日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-003

【出願番号】特願 2019-531786 (P2019-531786)

【国際特許分類】

A 2 3 K 20/163 (2016.01)

A 2 3 K 20/121 (2016.01)

A 2 3 K 10/30 (2016.01)

A 2 3 K 20/147 (2016.01)

A 2 3 K 10/20 (2016.01)

A 2 3 K 40/25 (2016.01)

A 2 3 K 40/30 (2016.01)

A 2 3 K 10/37 (2016.01)

A 2 3 K 50/40 (2016.01)

【F I】

A 2 3 K 20/163

A 2 3 K 20/121

A 2 3 K 10/30

A 2 3 K 20/147

A 2 3 K 10/20

A 2 3 K 40/25

A 2 3 K 40/30

A 2 3 K 10/37

A 2 3 K 50/40

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

大豆イソフラボンおよび酵母ベータ - グルカン (- グルカン) を含む血糖管理成分を含むペットフード組成物。

【請求項 2】

前記血糖管理成分が、哺乳動物によって摂取された約 6 時間後に、及び / 又は約 2 4 時間後に、生成された総短鎖脂肪酸 (S C F A) の約 2 0 % を超えるプロピオン酸含有量を有する、S C F A 複合体を生成するのに有効な量で存在する、請求項 1 に記載のペットフード組成物。

【請求項 3】

前記血糖管理成分が、哺乳動物によって摂取された約 6 時間後に、及び / 又は約 2 4 時間後に、生成された総短鎖脂肪酸 (S C F A) の約 2 5 % を超えるプロピオン酸含有量を有する、S C F A 複合体を生成するのに有効な量で存在する、請求項 1 または 2 に記載のペットフード組成物。

【請求項 4】

前記血糖管理成分が、哺乳動物によって摂取された約 6 時間後に、及び / 又は約 2 4 時間後に、生成された総短鎖脂肪酸 (S C F A) の約 3 0 % のプロピオン酸含有量を有する、S C F A 複合体を生成するのに有効な量で存在する、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 5】

酵母 - グルカン対大豆イソフラボンの比率 (酵母 - グルカン : 大豆イソフラボン) が、約 2 3 : 1 ~ 約 7 : 1 である、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 6】

前記プロピオン酸含有量が、摂取後約 6 時間の前記プロピオン酸含有量よりも摂取後約 2 4 時間の方が大きい、請求項 2 ~ 4 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 7】

プレバイオティック繊維成分をさらに含む、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 8】

前記プレバイオティック繊維成分が、ビートパルプ、柑橘類パルプ、セルロース系材料、またはそれらの混合物を含む、請求項 7 に記載のペットフード組成物。

【請求項 9】

前記プレバイオティック繊維成分が、ビートパルプと柑橘類パルプとの混合物を含む、請求項 7 または 8 に記載のペットフード組成物。

【請求項 10】

総繊維濃度が約 0 . 0 1 % w / v である、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 11】

前記大豆イソフラボンが約 0 . 0 3 % w / v で存在する、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 12】

前記 - グルカンが約 0 . 4 0 % w / v で存在する、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 13】

約 1 7 % ~ 約 5 0 % w / v のタンパク質をさらに含む、請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 14】

前記タンパク質は、加水分解された動物性または植物性タンパク質の供給源を含む、請求項 13 に記載のペットフード組成物。

【請求項 15】

前記加水分解された動物性または植物性タンパク質の供給源は、鶏の肝臓を含む、請求項 14 に記載のペットフード組成物。

【請求項 16】

加水分解された動物性または植物性タンパク質の供給源は、約 2 5 ~ 約 4 5 w / v % の活性含有量で存在する、請求項 14 または 15 に記載のペットフード組成物。

【請求項 17】

約 8 % ~ 約 4 0 % w / v の脂肪をさらに含む、請求項 1 ~ 16 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 18】

約 5 % ~ 約 1 0 % w / v の灰含有量を有する、請求項 1 ~ 17 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 19】

約 5 % ~ 約 2 0 % w / v の含水量を有する、請求項 1 ~ 18 のいずれかに記載のペット

フード組成物。

【請求項 20】

高ドコサヘキサエン酸魚油をさらに含む、請求項 1 ～ 19 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 21】

コンパニオン動物における食後のグルコースレベルを制御するための、請求項 1 ～ 20 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 22】

有効量の前記血糖管理成分を主成分とする、コンパニオン動物における食後のグルコースレベルを制御するための、請求項 1 に記載のペットフード組成物。

【請求項 23】

コンパニオン動物における満腹を誘導するための、請求項 1 ～ 13 のいずれかに記載のペットフード組成物。

【請求項 24】

有効量の前記血糖管理成分を主成分とする、コンパニオン動物における満腹を誘導するための、請求項 1 に記載のペットフード組成物。